

# 令和元年度温泉地学研究所研究成果発表会プログラム

日時：令和元年11月8日（金） 13:00～16:00（12:00 受付開始）

会場：小田原市民会館 本館3階小ホール

## ■開会挨拶

13:00-13:05 所長 加藤照之

## ■口頭発表（括弧内は発表者）

### (1) 13:05-13:30 微動探査による温泉流動要因の解明—別府温泉での調査事例の紹介—（宮下雄次）

別府温泉は2,200を越える源泉から、日量5万トンを超える温泉が湧出する国内最大規模の温泉地で、各泉質ごとに、温泉が沿岸部方向に湾曲・分離しながら流下しています。今回、微動探査により、これらの温泉流動経路が曲がりくねっている要因を明らかにしましたので報告します。

### (2) 13:30-13:55 電磁探査によって明らかになった箱根大涌谷地下の構造（萬年一剛）

箱根大涌谷付近で行われた電磁探査の結果を噴火前後で比べたところ、2015年噴火で生じた火口の地下150m付近に蒸気溜まりとみられる構造があり、噴火前後の地殻変動を上手く説明できることがわかりました。

### (3) 13:55-14:20 火山ガスの機器分析法（十河孝夫）

火山ガス中の塩化水素、二酸化硫黄、硫化水素について、IC法とICP-OES法を用いた機器分析結果と従来法（小沢の方法）による分析結果の比較を行ったので報告します。

休憩・ポスター発表（14:20-14:40）

### (4) 14:40-15:05 神奈川県で観測した地震波形が示す地下構造の手掛かり（安部祐希）

神奈川県とその周辺で観測された地震波形データを用いて行ったレシーバ関数解析について発表します。

### (5) 15:05-15:30 稠密な地震観測から明らかになった箱根山の地下構造（行竹洋平）

2016年～2017年に箱根山で稠密な地震観測を実施し、そのデータをもとに従来報告されているものより高分解能な地下構造が推定されました。観測の概要、得られた速度構造、そこから推察される火山内部の状態について報告します。

### (6) 15:30-15:55 2018年以降の地震活動と箱根山の火山活動について（瀧沢倫明）

神奈川県およびその周辺地域を中心に、2018年以降の地震活動の概要、及び箱根山の火山活動についてお話しします。

## ■閉会挨拶

15:55-16:00 研究課長 板寺一洋

裏面に続きます。

## ■ポスター発表

会場内に当所の調査研究や箱根ジオパークなどのポスターを掲示します。休憩時間に研究員がポスターの説明をします。

### 熱赤外カメラで見た大涌谷の世界（原田昌武）

熱赤外カメラを通して大涌谷（大涌沢）を覗き続けた結果（噴気地帯の地表面温度や放熱量）について紹介します。

### 南足柄市の活断層（小田原 啓）

南足柄市には平山断層をはじめとして複数の活断層が存在します。現在、活断層の詳細な位置や活動性を知ることが目的としてこれら活断層周辺の地質調査を行っており、その結果を報告します。

### 箱根火山大涌谷における噴気温度の連続観測（加藤照之）

大涌谷では 2015 年の小規模噴火以来活発な噴気活動が続いています。その活動をモニターするために噴気地帯の数か所の噴気孔において噴気温度の計測が月 2 回程度行われていますが、より活発化すれば接近できない可能性もあるため、遠隔監視が望まれます。また、活動の時間変化や異常検出のためには連続観測が必要です。このため、噴気温度の連続かつ遠隔監視可能なシステムを導入することを試みており、実験の経過について報告します。

このほか温泉地学研究所の調査研究や普及啓発に関連して、

**箱根山における火山活動活発化に伴う噴気組成の変化（環境科学センターとの共同研究）**

**箱根ジオパーク紹介ポスター（箱根ジオパーク推進協議会）**

などのポスター展示を行います。